

天気の良い日が続き、子どもたちは戸外遊びを思い切り楽しんでいます。虫探しや鬼ごっこ、かくれんぼなど、それぞれが好きな遊びを友だちと一緒に楽しむ姿が見られます。その中で、友だちと一緒にルールを決めたり、自分たちで声をかけて仲間を集めたり、友だちとの関わりも深まってきていますよ。今回は子どもたちが戸外でどんな遊びを楽しんでいるか紹介したいと思います！

～鬼ごっこ、かくれんぼ～

自分たちで鬼を決めて、鬼ごっこを楽しみます。初めは鬼に捕まると悔しくて泣いていた子もいましたが、ルールが理解できてきて、楽しいと感じられるようになってきたころから、捕まっても気持ちを切り替えて鬼になる姿が増えてきました。また、年長児の姿を見て「バナナ鬼ごっこ」や「ハンター鬼ごっこ」など少し変わった鬼ごっこもやりたい！と挑戦する子どもたちです！

そして、昨年から継続して楽しんでいるかくれんぼ。親子遠足の時にも、子どもたちが嬉しそうに隠れていた姿を覚えていますか？子どもたちから「先生、かくれんぼしたいな！」と提案があり、戸外や遊戯室、保育室でかくれんぼを楽しんでいます。集団遊びが少し苦手な子たちも、かくれんぼは、楽しそうに参加する姿が見られます。好きな遊びを通して、友だちと一緒に遊ぶことの楽しさを味わうことができ、子どもたちにとって、人間関係の育ちにもつながっているんですよ◎



～鉄棒、うんてい～

園庭に出ると、すぐに鉄棒やうんていに走っていき、「先生見ててね！」と一生懸命ぶら下がる姿が見られます。初めはぶら下がり楽しんでいただけだったのが、うんていでは少しずつ前に進めるようになっていたり、鉄棒ではクルッと1回転回れるようになっていたり、継続して楽しんでいることで、段々上達してきている子どもたち。力もついてきて、出来ることが増えてきたことが嬉しいようで、何度も繰り返し楽しむ姿が見られますよ♡



～虫探し～

春になり、たくさんの生き物が見られるようになってきました。ダンゴムシや、アリ、ミミズ、幼虫など見つけるとすぐに捕まえて観察を始めます。先日、園庭にテントウムシの幼虫を見つけ、保育室で育てることに。保育者と一緒に飼育ケースの環境を整えたり、本を見て何を食べるのか調べたりする姿が見られました。アブラムシを食べるということを知った子どもたちは、園庭に出るとすぐに探し始めていました。園庭に出るたびに、幼虫のエサを捕まえ、与えて育てているうちに、成虫に成長！大喜びの子どもたちは、飼育ケースに釘付けでした♡



～砂遊び～

園庭では砂遊びを楽しんでいる子がたくさんいます。穴を掘ったり、山を作ったり、砂で料理をしたり…。雨が降った次の日には、大きな水たまりが出来ていて、どろんこ遊びを思いきり楽しむ姿も見られます。これから梅雨になり、大きな水たまりが出来ることを楽しみにしている子どもたち。今年はどうのように遊びが広がっていくか、今からとても楽しみです♪

